



のぎわっ子

令和5年度学校だより
磐田市立東部小学校
令和5年7月4日

会礼 校長の話 ~観音山・ドリーム・タイム (DT) R5.6.22

先週、5年生といっしょに観音山に2泊3日の宿泊学習に行ってきました。

観音山での、5年生の話を聞く態度や問いに対する反応がよく、さらに履物の整頓や、あいさつ・会釈などしっかりできている子が多くいました。また、励ます声掛けなどKTAS活動の姿が、様々なところでみられました。

さらに6年生が社会科見学に行った先の館長さんから学校に電話がありました。内容は、履物の整頓がすばらしい、一般のお客様へのあいさつもよい。KTASをやっているだけのことはあるとおほめの言葉でした。

さらに学校教育目標を言える子がいたことにも感心されていました。

みなさんも5、6年生を手本とし東部小の自慢を広げていきましょう。

その「学校教育目標」。学校に関わるみんなで目指す東部小の目標ですが、知っていますか。教室に掲示されていますね。

その東部小の目標は「夢をもち みんなと学ぶ たくましい子」です。

ところでみなさんには、夢がありますか。夢には、将来の夢や身近なことで何かできるようにになりたいという夢もあると思います。

その自由な夢に近づくことができる時間として、特別な日課やB日課でない限り、火曜日と金曜日に午後1時20分から15分間の「DT (ドリームタイム)」の時間がありますね。

ドリームタイムは、自分で活動を選び、自分で考えた活動をする時間です。

使い方として、昼休みの延長もあるかもしれませんが、遊びの中でも、ちょっと意識したりチャレンジしたりする時間。例えば、昼休みは友達とサッカーで遊んでいて、DTになったらサッカーのPKとかバスケットボールのシュートの精度をあげる遊びというか、練習にチャレンジ。タグラグビーのパスをもっと上手にしたいという遊びや練習もいいでしょう。鉄棒や縄跳びの技にチャレンジやもっと好きな絵やイラストを描きたい、もっと読書をしたい、もいいと思います。先日は、DTに読書をしている人、鍵盤ハーモニカの演奏をしている人、折り紙を使ってネイルアートを楽しんでいる人がいました。



学級遊びをしたいという夢を実現するために計画した友達がいる、「本当は読書をしたいけど今日は友達の夢につきあおうか」、という場合や、「東部カップが近いから勝ちたい、もっと思うようなプレーをしたい」とみんなで活動することを選ぶ場合があるかもしれません。いろいろありますが、基本は、昼休みは友達と遊んだり委員会活動だったりしても、DTでは、自分で夢に向かって自分で決めた活動をする時間、学校でできることで好きなことにチャレンジする時間です。

昼休みに友達とおしゃべりをするのはよいですが、DTもおしゃべりをしたいからおしゃべりだけ、というのは使い方としては、どう思いますか。

夢のためにチャレンジできる時間として有効に使い、その中では、楽しい会話や笑い声はあるかもしれません。同じ夢をもつ子や友達と一緒に活動はあるかもしれません。明日のDTは〇〇をしよう、そういう楽しみがあってよいと思います。

夢を広げたり、チャレンジしたりしていきましょう。みなさんの可能性はとても大きいです。少しずつでも続ければ大きな力となります。

以上でお話を終わります。

ホームページをぜひ御覧ください

本校では、日々子どもたちの学習や活動の様子をホームページで紹介しています。4月からこれまでに、60件ほどの教育活動の様子を発信しました。学校や学年の行事に真剣に取り組む子どもたちの姿、日ごろの授業の様子、PTAやボランティアとして学校を支えてくださる保護者の皆様や地域の方々の活動、職員の研修などを御覧いただけます。

左のQRコードを読み取っていただくこともできます。できる限り、新鮮な情報を発信していきたいと思っておりますので、ぜひ、御家庭での話題にしてみてください。



HPのQRコード

教頭の独り言



東部小に4月から赴任し、毎日のように耳にする「KTA」活動。(保護者の皆様も耳にされていることでしょう。)一体どんな様子なのかな?と気にしていると、朝の貴重な時間を活用した愛校活動に感動と感心! 進んで校内を掃除する子どもたちとともに「K」を実践する教職員の姿、どちらも東部小の宝であり自慢です。東部小がいつもきれいなのは、この「K」精神のお陰なんですね。心から、ありがとう。

お知らせ 5月23日の給食に関する報告

5月23日(火)の給食に「お茶豆」がありましたが、1学級の食缶の中に、お茶豆はないと思われるものが入っていました。この日、お茶豆はすべての学級で食べずに、廃棄しました。

検査をしたところ、検査センターから「塩化ビニル樹脂の一部」と報告がありました。さらに、健康に害がないものとの報告ではありますが、今後このようなことのないよう安全安心な給食に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。